

北野 悦之 議員



保育所待機児童の 解消について

Q 去年の9月に未満児の保育を申し込みに行ったら来年の4月まで待つて下さいと言われ、待つておられる現状がある。南阿蘇村民の保育士の免許を持つておられる方を登録して短期的に保育士増となるようにシステムを作つてはどうか。

A **住民福祉課長** 保育士の確保は、派遣会社2社と連携しながら村内の住民を優先するようにしている。なお本村では待機児童はいない。もともと待機児童というのは実際保育所へ入所申し込みを申請したにも関わらず、入所できなかった児童を指す。わが南阿蘇村5園の保育所においては、入所時

に322名、入所で5月以降その都度途中入所対象があり、最終的には353名の児童が入所した。しかし、入所手続きの際に、定員の関係により5保育所の中で自分の希望した保育所以外に入所された経緯もあるが、ご質問のように入所を待つていたことはない。



入園式のような
(長陽保育所にて)

Q 努力されているのは分かるが、文書の有り無しで、0と1が有るとは住民感情にそぐわないと思う。運用の精査と職員の意識改革が必要と思うがどうか。

A **村長** 基本的には児童の待遇者はあつてはならないと考へており、そのような体制をしっかりと整えねばならないと考へている。今まさに、世の中少子高齢化の時代、そして国際化の事も考へ今やれることはやつて、将来の子どもたちに負担を残さない

未満児保育のようす
(白水保育所にて)



い行政を進めていかねばならないと思つてゐる。知力、体力のうゑにやさしい心を持つた人間味溢れる人になつていくための施設の整備や、諸々の教育行政への支援もしっかりしなくては考へてゐる。保育所の運営については、派遣会社としっかりと詰めをしながら現場がやりやすいように、そして保育効果が十分に得られるような形を一緒にやつて整えていきたいと考へている。

保育士の登録制度も即応性に備へて、前向きに考へたい。

運動会のようす
(久木野保育所にて)

